



東中国教区
 教区ニュース誌委員会
 〒710-0008
 倉敷市鶴形一五十五
 倉敷キリスト会館内
 TEL 086-422-1780

クリスマス説教

「ベツレヘムのイエス」

岡山教会 牧師 廣田和浩

聖書…マタイによる福音書二章一〜二三節

マタイによる福音書二章は「イエスは、ヘロデ王の時代にユダヤのベツレヘムでお生まれになった」と書き始められています。主イエスが生まれたことについて、「ヘロデ王の時代」という「時」と「ユダヤのベツレヘム」という「場所」が示された言葉です。救い主が降誕された喜びの時であり、喜びの場所です。けれども、この時と場所は、ヘロデ王によって、「ベツレヘムとその周辺一帯にいた二歳以下の男の子が一人残らず殺された」という、悲しい時であり、悲しい場所でもあるのです（二章一六節）。この間、イエスの家族は、政治の影響により、ベツレヘムからエジプトへ避難し、さらにナザレへと

移住したのでした。

ヘロデ王は、エルサレムにて政治を行っていました。主イエスを拝みに来た東方の博士たちは、ヘロデ王と面会しています。王との面会がゆるされていることから、博士たちは東方の国においてある程度の立場にあった人たちであると考えられます。ヘロデ王は、博士たちから聞いた「ユダヤ人の王としてお生まれになった方がいる」という情報によって、不安を抱き、それがその後の行動につながっていきます。博士たちの言葉は、（ベツレヘムにいる）イエスがユダヤ人の王であるといっていることになり、エルサレムにいるヘロデがユダヤ人の王であり続けることを脅かすものでした。ヘロデは、博士たちにイエスが見つかったら知らせしてくれと依頼していますが、拝むためではなく、殺害を計画していました。幼子イエスに会った後、博士たちはヘロデの所へ行かずに帰ってしまいました。

ベツレヘムとエルサレムは十キロメー

目次

クリスマス説教	1
第一回宣教会議報告	2
第十三回礼拝音楽の集い	3
鳥取県東部地区の集い	4
人権集会報告	5
教区伝道推進研修会のご報告	6
教会紹介	7
クリスマスに読みたい絵本・編集後記	8

トルも離れていません。博士たちは、エルサレムから、さらに星に導かれて、幼子イエスに会うことができました。ところが、現在、ベツレヘムは、パレスチナ自治区ヨルダン川西岸地区にあり、エルサレムとの間は、イスラエル国の設置した分離壁によって隔てられています。このような壁も、為政者が自らの権力を脅かされる不安を覚えたことからこそ築かれています。為政者が抱く不安の結果、犠牲となるのは、ヘロデ王の時代は二歳以下の乳幼児でしたが、現代でも、まず子どもたちです。もちろん子どもたちだけでなく、大人も犠牲になっています。また、多くの方々が難民生活を余儀なくされているのです。

二〇二三年クリスマス、とりわけパレスチナのキリスト者をおぼえて、キリストの平和が豊かにありますように祈ります。

「第一回宣教会議報告」

東中国教区副議長 中井大介

去る九月四日(月)にオンラインで第一回宣教会議を開催いたしました。このたびの会議においては①二〇二四年度予算についての懇談、②伝道資金の申請について、③将来的東中国教区宣教に関する件、として三つの議題を取り扱いました。とくに③将来的東中国教区宣教に関する件については、新設された教会強化特設委員会(以下、「特設委員会」)から今年度の教会強化特別資金の申請の傾向と、申請書を受け付ける中で長時間議論を必要とした点をもとに提言を受けました。

教会強化特別資金運用規程が新たにされて運用がはじまっていますが、教区の諸教会からの申請においては牧師館に限らない教会設備への営繕申請が予想以上にありました。ただし、新規程には営繕のための規定が盛り込まれておらず、限られた資金のうちから常置委員会とも協

議して「礼拝堂(礼拝場所)の整備並びに用地取得に関する支援事業」のうち旧規定の営繕助成が含まれているとみなして運用をしています。歴史的に当規程は旧規定中に会堂建築や用地取得に対する支援規定が存在しなかったところ、将来的な宣教では教区も各個教会の自主的な会堂建築や用地取得事業に呼応するかたちで支援する立場になりたいとの理解において定められたものです。そのため営繕支援の面では後退してしまいました。かねてより教区には「営繕貸し出し助成」制度もあり、貸与制度の利用を促す必要もあるとの議論もあります。そうした中で、特設委員会では営繕申請が単に建物の美化や維持のためだけではなく、営繕という事業によって地域の宣教に影響し、営繕措置を行った教会を起点に地域の活性化をもたらす可能性があるとの視点から、できるかぎりの助成を行いたいと議論してきました。会議の中では会堂建築や用地取得は頻繁にあることではないのだから規定内容を後退させてはどうかとの意見も出されましたが、新

規程は将来的な宣教のための視野を広げることとも目的であり、当該規定は残していきたいとの意見も出されました。そうした議論を通して特設委員会は運用面において将来的宣教の視点から営繕助成の項目を新規程に設けてほしいとの要望を宣教会議において提案されました。新規程の運用が始まってから各地区長を構成員とした特設委員会は、地区長がそれぞれの地区の実情を丁寧に取り上げてくださり、真摯に議論を重ねてくださっています。このたびは特設委員会からのご提案を受けて教区での課題としていきたいと思えます。



♪ 第十三回

礼拝音楽の集い♪

宣教部教育委員会委員長 三浦きょうこ



二〇二三年九月十八日(月・祝)、今年度も「礼拝音楽の集い」を開催することが出来ました。今回は鳥取県側ということで、場所は米子教会が快く引き受け下さっていました。講師は、毎年お引き受け下さっている中村証二先生です。

昨年に引き続き、わたくしたちはこの会の豊かさや大切さを目の当たりに致しました。参加者は十三教会二七名。この集いのために中村先生は前もって一度オルガンの下見に来られ、前日から米子入りしオルガンの調整をして準備して下さいました。米子教会では、おいしいお弁当をはじめ、ご当地銘菓を用意して下さいました。おかげさまで参加者一同、美しく広い場所で、

気持ちよく講演会を聞くことが出来、また交わりの時を持つことが出来ました。午前部の部は、中村証二先生の優しく語りかけるような分かりやすい講演、午後の部は、レッスン希望奏楽者の公開指導です。午後三時までの予定が、四時二〇分まで延長された中村先生の熱心なご指導に頭が下がります。帰宅予定が遅れてしまった方々には、たいへんご迷惑をお掛けしましたが、みなさん充実した時を過ごされたようです。是非、次回には、オルガニストのみならず、牧師方をはじめ、より多くの方たちに参加していただけたらと思います。みなさんの交わりが、これからの東中国教区の力になっていくことでしょう。

また今回は更に、集いの開催にあたって事前に教区各教会のオルガン状況をお尋ねすることにより、教区のリードオルガン・メンテナンズ事業にもつながり、多くの実りがありましたこと心から感謝いたします。

昔から、主を信じる群れは、礼拝において音を奏で、賛美を持って神の栄光と誉れを表してきました。礼拝音楽をこれからも大切に、また会衆の賛美を支えるオルガ

ニストの方々のために祈り励まし、今後とも学ぶ機会を作ってまいります。ここに日々、練習を重ね、礼拝を支えて下さっている奏楽者の方たちに、みなさまに変わり感謝を述べたいと思います。ありがとうございます。

これからも我ら東中国教区から神様への賛美の声を大きく響かせてまいります。

「♪ 響けよ、天に、あまねく地に、喜びあふれる知らせ。♪」讃美歌21―二三―一番



「鳥取県東部地区の集い」

「みんなで歌おう♪ イーナとうぶ！」

開催報告

湖山教会 諸家香代子

鳥取県東部地区の集いが、二〇二三年十月二二日(日) 十四時より日本基督教団用瀬教会に於いて約三十人の参加者で行われました。このところコロナで中止されてしまったので、なんと久しぶりでしょう。懐かしいお顔に再会してはハイタッチし、新しいメンバーにお会いしては喜びました。

まずは用瀬教会の主日礼拝が赤川祥夫牧師説教「火を地上に投ずる方」と題して執り行われました。

その後、「みんなで歌おうのコーナー」では信徒によるゴスペルの弾き語りから始まり、木谷実牧師&横山順一牧師のギター伴奏で「神様がくれた季節」、「一個でもニコデモ」、「きつとだいじょうぶ」をみんなで楽しく歌いました。ティータイムでは各教会の紹介をしあい、グルー

プに分かれて中筋博治作詞作曲の「ともだち」の替え歌を作り発表をしました。替え歌作りを通して初めてお会いしたグループメンバーともすぐ打ち溶けました。その発表がなんと楽しかったことか！みんなの笑顔と歓声で会堂全体が湧き上がりました。

ところで、振り返ると、宿泊での地区の集いは、第一回二〇一三年 九月二二日〜九月二三日於ホテルウエルネス因幡路、第二回二〇一五年十月十一日〜十月十二日於鹿野山紫苑、第三回二〇一七年十月十日〜十月九日於鹿野山紫苑で終わりました。宿泊の四人部屋のメンバーで聖句について語り合った楽しいひとときは今も忘れられません。今では参加者の年齢的にも体力的にも日帰りが適切となりました。

今回の集いでは、若き地区長の湖山教会木谷実牧師を中心に、ベテランの新生教会・青谷教会山田忠義牧師と、八頭教会主任・用瀬教会代務赤川祥夫牧師、今年度東部地区に赴任された鳥取教会の横山順一牧師、鳥取信和教会の塚本望牧師

の若くエネルギーに満ちた存在が加わり、主にある気持ちの良い調和と大きな原動力が参加者に伝わってきました。この楽しかった体験が各教会での活動やご奉仕に繋がるようにと祈ります。

秋晴れのお天気と庭のピンクのコスモスで歓迎してくださった会場提供の用瀬教会の皆さま、斬新な企画でお世話してくださった地区委員の皆さまに心から感謝いたします。



人権集会報告

東中国教区社会委員会

倉敷教会 宮脇俊昭

テーマ：「つないだ手を離さないくまわり」

ににいる外国人のこと」

講師：渡邊さゆり牧師

(駒込平和教会牧師・マイノリティ宣教センター共同主事)

開催日時：二〇二三年十月二八日

場所：日本基督教団岡山教会四階集会場

参加人数：十七人

(会場十二人 Zoom五人)



二〇二三年度社会委員会主催の人権集会
が会場参加とZoomによる参加者により
開催されました。今年度テーマは「つない
だ手を離さないくまわり」ににいる外国人のこ
と」と題して行われました。渡邊先生は今
回のテーマから日本ににいる外国にルーツを
持つ人々と一緒に生きてきたこと、そして
これからも一緒に生きていきたいこと、そ
うえで現在とても大きな課題となってい
ることについて参加者と一緒に考えていき
たいとのことでした。

大きな課題というのには「出入国管理及び
難民認定法」といわれる「入管難民法（入管
法）」と略されている法律が今年六月に改
訂（改悪）され来年六月までに施行される
ことです。この法律の改訂はいくつか問題
があるとされています。また日本の難民政
策についても国際的に問題が指摘されてい
ます。まず、ノン・ルフールマン原則の無
視。この原則は生命や自由が脅かされかね
ない人々が、入国を拒まれあるいはそれら
の場所に追放送還されることを禁止する国
際法上の原則だそうです。

次に国連自由権規約委員会からの難民政
策についての勧告を無視し続けているこ
と。一方で労働力としての技能実習生の受
け入れを拡大する方向にあり自分たちに都
合のいいようにしていると言われます。こ
れまでの入管法体制がもたらした偏見が差

別となりへ
イト行動へ
とつながる
ことがあり
ました。入
管難民法に
は一つひと
つ上げたら
きりがな
いほど問題
があります。

しかしこの
法律は国会
で成立し施
行を待っています。

渡邊先生はこれまでの活動やキャリアか
ら日本ににいる難民に命懸けで寄り添おうと
されています。私たちに出来ることは何が
あるのか分かりません。しかし自分の周り
の人（教会・職場・家族等）に伝え、祈る
ことは出来ます。私もまずそのことをしよ
うと思っています。

*当日の講演をこちらのQRコードから
ご視聴いただくことが出来ます（期間
限定）。



「教区伝道推進研修会」

「報告」

蕃山町教会 加藤 隆



伝道推進研修会が十一月三日、四日に岡山教会で行われました。四年ぶりに行われる研修会のテーマは「東中国教区の再始

動」。コロナ禍の

影響を受けたそれぞれの教会が歩んだ三年間の歩みを分かち合い、喜びも悩みも、神さまから与えられた恵みも共にして、もう一度みんなで再出発をしよう。そのような思いで今回の研修会のテーマが設けられました。研修会は二日間にかけて行われました、一日目は開会礼拝から始まり、岡山教会の廣田和浩先生からみ言葉をいただき、その後パネラー発表、パネルディスカッション、質疑応答、夕食

と懇談が行われ、二日目は各分団で分かち合いの時を持ち、全体会、閉会祈禱をもって終了となりました。

今回はパネラーとして、東中国教区各教区の地区長である六人の先生（岡山北部地区・田中寛也先生、岡山東部地区・延藤好英先生、岡山中部地区・小岩輝先生、岡山西部地区・高津俊先生、鳥取西部地区・中道祐太先生、鳥取東部地区・木谷実先生）をお招きしました。先生方には各地区の三年間の歩み、各教会の現状報告、そしてこれからの課題と希望をお話いただきました。

各地区の先生方の発表とパネルディスカッションを通して、それぞれの教会に共通して挙げられた課題をひとこと言うなら、いかにして「つながる」のかということであったと思います。高齢化や教会員の減少が進む現状において、どのようにわたしたち一人ひとりが神さまや教会とつながっていくのか。教会同士、教会員同士でつながっていくのか。また地域に開かれた教会として、どのように社会や地域に生きる人々とつながっているのか。これらの課題に対し、それぞれの教会が行っている具体的な事例を交えながら積極的な意見交換や分かち合いが行われ、豊かな時となりました。

また、各地区の報告を受けた中で、オンラインで行われる礼拝や集会といった現代の技術を使った教会、伝道に多くの教会、先生、教会員の方々が関心を寄せていること。それと同時に対面で交わりを持つことへの求めも強くあること。これらが改めて浮き彫りになったと感じました。こういった求め、関心に対して、将来的東中国教区の宣教で挙げられた四つの骨子がこれから生かされていくことを願います。

二日間を通し、オンラインを含めて二十一教会、三十五名の参加がありました。感謝してご報告いたします。



教会紹介

・美作落合教会・

主任担任教師 田中直子



田中直子牧師就任式

美作落合教会は一八八六年六月十二日を創立の日として、今年で百三十七年を迎えました。

その当時は、三組同時に結婚式を挙げるなど、夫婦会員も多く、また、各方面の有力者が多く集って活気ある教会でした。しかしながら、教会内外の

諸事情、太平洋戦争、一九三四年（昭和九年の大水害）によって、殆どの資料が流出してしまい、会堂は廃屋同然となるなど重なる試練を受けました。長い無牧師時代を経験しましたが、わずか二、三名の信徒による熱いあきらめない祈りによって礼拝は守られ、教会は立ち続けてきました。

一九五五年には、大きな被害を受けた会堂の大改修が行われ、翌年からは荒谷恒喜師の就任によって本格的に教会活動が再開されました。その後も教師の交代があつたりしましたが、津山城西教会の池田なおみ師によって兼務体制となりました。以後、ホーリネスの群から教師が遣わされるようになり、二〇一九年、津山城西教会に田中寛也牧師が就任しました。二〇二二年十一月、私、田中直子の正教師授按に伴い、二〇二三年四月から美作落合教会の主任担任教師として招聘されて現在に至っています。礼拝は毎日曜日午後二時三〇分から行われ、十、十一、三名の方々が集っています。最高齢は九四歳の婦人の方です。高齢化はしています

が、三人の元気な女子小学生と一緒に出席しています。声高らかに賛美する神の家族の交わりを通して喜びと希望をいただいています。コロナ以前には、「まちかど展覧会」に参加したり、サタデーカフェを開催して、地域の方々の交流を図ってきました。コロナ後のこれからをどのように進めていくのが、新年度からの祈りの課題です。

「傷ついた葦を折ることなく、暗くなってゆく灯心を消すことなく」（イザヤ書四二・三）

苦難を信仰によって乗り越え、聖霊に助けられ、導かれて来た美作落合教会です。長い教会の歴史の中に生きて働かれる神様に期待して、励んでゆきたいと願っています。皆様のお祈りの応援をよろしくお願いいたします。



クリスマスに読みたい絵本

『みんなでうたうクリスマス』

絵 やなせたかし
文 晴佐久昌 英
曲 塩田 泉

クリスマス神父として名を馳せる晴佐久昌英が、一九八九年に出版した絵本です。

アンパンマンでおなじみのやなせたかしが絵を描いていて、その柔らかく温かなクリスマス風景に、心がほっこりします。

字数制限があるので、おすすめポイントをひとつだけ。それは、これが、いわゆる「読み聞かせ」のための絵本ではなく、「みんなでうたうクリスマス」というタイトルが示すように、CDに録音された歌とともに楽しむ絵本であるという点です。

絵本のすべての文章に、旋律がつけられ、巻末には譜面も収録されています。また、歌が録音されたCDもあります。ちなみに、作曲した塩田泉も、カトリックの神父です。

歌のもつ力は不思議です。楽しい歌を歌えば、体が弾みますし、静かな歌を歌えば、心が落ち着きます。そして、歌は、私たちの心をつなげて、ひとつにします。晴佐久神父のやさしいテキスト、やなせ氏のすてきなイラスト、そして、塩田神父の親しみやすいメロディによって、子どもたちは、豊かなクリスマスの世界に引き込まれていきます。

私も、教会付属保育園で、実際にCDをかけながら、この絵本を見せてみたところ、園児たちは、いつもより夢中になって絵本に魅入っていました。やはり、本書には、幼い心を惹きつける特別な魅力があるようです。

今年のクリスマスに、一冊いかがでしょうか。きっと、この絵本を通して、クリスマスがより身近に感じられるでしょう。

(ニュース誌委員会報)

編集後記

クリスマスの訪れをお祝い申し上げます。日頃より教区ニュース誌をご覧いただき、ありがとうございます。新型コロナウイルスへの警戒感はずいぶん薄れてきたようで、マスクを外している方々を多く見かけるようになりました。また、教区・諸教会の活動も徐々に再開しているように感じます。立ち止まるべき時に止まり、進むべきときに進む。私たちには神の御心にかなった時があることを思い起こします。コロナ禍において一旦は止まらなければならぬ時期もありましたが、今また新たに力強い宣教のはたらきへと進み出したいと願っています。

ニュース誌委員会は様々な方のご意見を受けて、よりよい形のものをお届けしたいと願っています。お尋ね等がございましたらお気軽に委員にお伝えください。

クリスマスの恵みと喜びがそれぞれの教会、それぞれのお働きの上に豊かに備えられますように。

(W)

★ハラスメント相談窓口★

毎月第三水曜日 午前九時～午後九時
イイミミト
 電話番号 ○九〇―一三三三〇―八七三〇
ハナソウ